

デジタル工作 魅力PR

刺しゅうや印刷親子連れ体験



トートバッグに刺しゅうする体験を
楽しむ子どもを見守る学生



広島工業大



1年

川手崇雅

広島工業大(広島市佐伯区)は学内に設けたデジタルものづくり拠点「Fab Lab (ファブラボ)」の魅力を紹介しよう。佐伯区民文化センターと五日市中央公園で開かれた「佐伯区民まつり」でブースを出した。来場者に3Dプリンターなどの工作機器でデータから立体製品などを生み出すデジタルファブリケーションを体験してもらい、その魅力を伝えた。

「わくわく工作ランド」と

名付けたスペース。学生たち9人が企画や事前準備、当日の運営全てを担った。子どもたちは自分が描いた絵を専用のミシンでトートバッグに刺しゅうしたり、手描きのイラストをシルクスクリーン印刷で布に転写したりして歓声を上げていた。

レーザーカッターで加工したアクリル板を材料にしたキーホルダーづくりも人気だった。この日は、親子連れを中心に約150人が体験し、子どもは「自分の絵が形になるのが楽しい」などと喜んでいった。ものづくりを楽しむ子どもを見守る学生も笑顔だった。

キャンパス
リポーター
発